

教材名：くずれおちた段ボール箱

内容項目：親切・おもいやり 新しい道徳小学5年 東京書籍

### 1. 本教材について

教科書に出てくるキャラクターの設問に「親切にするとき、大切なことはどんなことでしょうか」と書かれている。また、題名の前に「相手の立場に立って親切に」と書かれてあり、「困っている人がいたら親切にする」という大前提で話の枠組みができてしまい、その後の児童の施思考が狭められてしまうと考え、価値観の多様性を尊重するために、121 ページ7行目以降を読まずすすめていきたい。

また、私と友子さんが、困っているおばあさんに対してとった行動や言動を、「困っている⇒親切にする」と結びつけるのではなく、困っている状況・起きている状況を打破するためには、どうすべきか自分の考えを持つ時間として位置付けたい。今の教材のままでは「わたし」はかなり独善的な行動をとっていることも理解させたい。

### 2. 本教材を扱う際に、特に注意すべきだと考えたこと

- (1) 親切…困っているおばあさんを見た「わたし」の気持ちや行動を考える
- (2) 勇気…周りのおおぜいの買い物客がだれも手伝おうとしない中、困っているおばあさんを手伝おうとする「わたし」の行動について考える。(ひと言お店の人に説明してから行動すべきだったのでは?)
- (3) 公正、公平、社会正義…おばあさんを困らせている男の子の行動について考える。
- (4) 誠実…店の人と一緒に残りの段ボール箱をかたづけした「わたし」の行動について考える。  
「いいえ、いいんです……」と言って、その場を立ち去った私たちの行動について考える。
- (5) 礼儀…戻ってきてお礼を言ったおばあさんの行動や気持ちについて考える。

### 3. 指導過程

自分の考えを話したり、ほかの人の考えを聞いたりすることを通して、自分の持っている価値観や考え方の特徴に気づく。

	子どもの活動や教師の発問など	留意点
導入	◎困っている人に出会った時、あなたは手助けをしますか？ ○する。○困っていることによっては手助けする。○知らないふりをする。○周りのおとなを呼ぶ。 *教材を読む (P118～P121 7行目まで) ◎気になったこと、気づいたこと、自分も同じことをすると思ったこと、自分はしない(できない)と思ったことを見つけ、その「わけ」も考えよう。	・P121 7行目以降は削除したプリントを用意する。

<p>展 開</p>	<p>*教材の気になったところに線を引き、「わけ」も書く。</p> <p>○男の子は、「おばあちゃん、早くおもちゃ売り場に行こうよ」と言って、らんぼうにおばあさんの手を引いて、困らせている。</p> <p>○周りにおおぜいの買い物客がいたが、だれも手伝おうともしなかった。</p> <p>○わたしと友子さんは、なんだかそのままにしていられないような気がして、お店の人に相談してから、かたづけを手伝おうとした。(教材のままでは、お店の人に相談しない独善的な行動になっている)</p> <p>○「こんなことなら、かたづけてやらなければよかった」</p> <p>○おばあさんが男の子を連れて急ぎ足でもどってきた。「先ほどはありがとうございました。お言葉にあまえまして…」と、わたしと友子さんにていねいにお礼の言葉をくり返した。</p> <p>○「いいえ、いいんです…」と言って、わたしたちはその場を立ち去った。</p> <p>◎グループで友だちの意見を聞き合いましょう。</p> <p>*自分と違った意見や考えについてメモしておく。</p> <p>◎全体の場で話し合いましょう。</p>	<p>3, 4人または、5, 6人のグループで考えを共感的に聞く。</p> <p>机間指導する際には、児童の考えを共感的に聞く。</p> <p>必要に応じて教師が論点を広げたり絞ったりする。</p>
<p>ま と め</p>	<p>◎今日の授業で、気づいたり感じたりしたことを書きましょう。(ワークシート)</p> <p>*読まないでおいた部分を読む。困っている人に対する行動には状況や考え方によって、さまざまなことが考えられることを押さえたい。</p>	<p>観点としては</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考え(価値観)</li> <li>・考えの変容</li> <li>・学習を通じて気づいたこと</li> </ul> <p>についてかけるといいのではないか。</p>

#### 4. 参考資料